



令和7年度 草の根・人間の安全保障無償資金協力
「パナマ赤十字社アライハン地方支部救急車整備計画」
契約署名式及び小切手供与

2026年3月4日、在パナマ日本国大使館で、草の根・人間の安全保障無償資金協力の契約署名式および小切手供与が行われ、松永一義日本国大使、ハビエル・マルティネス＝アチャ外務大臣、フェルナンド・ボイド＝ガリンド保健大臣、マヌエル・サンブラノ・チャン保健次官、エリアス・ソリス・ゴンサレス・パナマ赤十字社代表及びその他関係者の方々が出席しました。

西パナマ県アライハン市は首都から約26kmに位置し、人口約29万9千人を抱える一方で、公的病院が整備されていません。そのため、救急患者は17km離れたラ・チョレラ市やパナマ市の医療機関へ搬送されており、住民の救急医療アクセスは極めて制限されています。また、同市の救急搬送体制は脆弱で、中央政府の公共治安省が管理する救急車はわずか1台のみであり、人口5万人に対して救急車1台、7万人に対して高度救急車1台を推奨するWHO基準と比較しても著しく不足しています。

本案件は、アライハン市における救急対応力の向上を目的としており、総額130,000.00ドルが支援されます。具体的には、パナマ赤十字社アライハン支部に救急車2台を新たに整備し、これにより救急要請への迅速な対応を可能にします。これまで対応が困難であった状況を改善し、重症患者の救命率向上や地域住民の医療アクセス改善に大きく寄与することが期待されます。

我が国は、草の根・人間の安全保障無償資金協力のスキームにより、過去31年間で合計238件の案件をパナマにおいて実施してきました。これらの案件は、いずれも実施団体の弛まぬ努力により優れた成果を上げています。本日契約署名されたプロジェクトにおいても必ず所期の成果を挙げられるものと考えております。



小切手授与



松永大使による挨拶



ハビエル・マルティネス＝アチャ
外務大臣による挨拶



フェルナンド・ポイド＝ガリンド
保健大臣による挨拶



エリアス・ソリス・ゴンサレス
代表による挨拶



契約書署名①



契約書署名②



契約書署名③



集合写真